

令和6年度「京丹後市いじめ調査（2回目）」結果について

1 実施状況

(1) 未実施 5名

【内訳】小2：1名、小4：2名、小5：1名
小6：1名

(2) 家庭訪問での調査 19名

【内訳】小6：1名、中1：4名、中2：5名、中3：9名

	小学校	中学校
在籍児童生徒数(人)	2301	1139
調査児童生徒数(人)	2296	1139
内家庭訪問での調査(人)	1	18
未調査児童生徒数(人)	5	0
実施率(%)	99.8	100

2 認知と解消について

(1) 認知件数と内訳

		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	中学合計	京都府 小学校	京都府 中学校
認知	男子	28	21	52	25	15	14	155	11	7	2	20		
	女子	33	39	31	36	12	10	161	8	0	2	10		
	合計	61	60	83	61	27	24	316	19	7	4	30	7,615	785
未 解 消	A要指導	1	14	15	19	9	2	60	0	0	0	0	1,062	117
	B要支援	8	15	18	2	2	3	48	13	2	2	17	1,031	116
	C見守り	51	31	49	40	15	19	205	6	5	2	13	5,399	529
解消	1	0	1	0	1	0	3	0	0	0	0	0	123	24

A: 行為止んでおらず被害者の苦痛あり

B: 行為止んでいるが苦痛あり

C: 行為止み苦痛もないが3カ月経過していない

ア 京丹後市いじめ調査2回目では、全ての小中学校でいじめを認知している。

イ 認知件数は小学校316件（1回目調査 -29件）中学校30件（1回目調査 -2件）

ウ 要指導・要支援件数の比較

	小学校				中学校			
	R5 1回目	R5 2回目	R6 1回目	R6 2回目	R5 1回目	R5 2回目	R6 1回目	R6 2回目
認知件数	295件	317件	345件	316件	27件	20件	32件	30件
要指導	33件 (11.2%)	35件 (11.0%)	87件 (25.2%)	60件 (19.0%)	3件 (11.1%)	3件 (15%)	1件 (3%)	0件 (0%)
要支援	17件 (5.8%)	19件 (6.0%)	17件 (4.9%)	48件 (15.2%)	5件 (18.5%)	2件 (10%)	18件 (56.3%)	17件 (56.7%)

(2) 1 回目の追跡調査結果について

6年度1回目	小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	小学合計	中学1年	中学2年	中学3年	合計
認知件数	44	70	85	57	54	31	341	17	11	4	32

【追跡調査の結果】

解消件数	37	56	76	51	50	29	299	16	10	4	30	
(解消率)	84%	80%	89%	89%	93%	94%	88%	94%	91%	100%	94%	
未 解 消	A 要指導	0	4	5	5	2	1	17	0	0	0	0
	B 要支援	3	2	1	0	1	0	7	1	0	0	1
	C 見守り	4	8	3	1	1	1	18	0	1	0	1

- ア 1 回目調査で認知したいじめについては、小学校で約 87.7%、中学校で 93.8%が解消している。
- イ 「A要指導」：小学校が 17 件（R5 同調査 13 件）、中学校 0 件（R5 同調査 2 件）
いったん指導により止んだ行為が 3 か月以内に再度繰り返されている。
- ウ 「B要支援」：小学校 7 件（R5 同調査 0 件）、中学校 1 件（R5 同調査 1 件）、
- エ 「C見守り」：小学校 18 件（R5 同調査 16 件）、・中学校 1 件（R5 同調査 2 件）
- オ すべての事象について、児童生徒の状況に応じた指導と、児童生徒の気持ちが納得するまで、支援・見守りを継続することが重要と考えている。

3 態様の状況について

いじめの態様(複数回答)	小学校					中学校				
	京丹後市				京都府	京丹後市				京都府
	1回目		2回目		2回目	1回目		2回目		2回目
	人数	割合	人数	割合	割合	人数	割合	人数	割合	割合
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	215	44.6%	199	49.8%	41.7%	25	62.5%	23	65.7%	48.4%
仲間はずれ、集団による無視をされる。	54	11.2%	52	13.0%	13.1%	0	0.0%	2	5.7%	9.3%
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする。	73	15.1%	68	17.0%	17.9%	6	15.0%	3	8.6%	15.8%
ひどくぶつられたり、叩かれたり、蹴られたりする	60	12.4%	27	6.8%	7.6%	3	7.5%	1	2.9%	6.1%
金品をたかられる。	8	1.7%	0	0.0%	1.5%	0	0.0%	1	2.9%	1.4%
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	18	3.7%	7	1.8%	3.7%	1	2.5%	1	2.9%	3.6%
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	44	9.1%	37	9.3%	10.1%	1	2.5%	1	2.9%	4.8%
パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる。	6	1.2%	5	1.3%	1.8%	1	2.5%	2	5.7%	4.2%
その他	4	0.8%	5	1.3%	2.6%	3	7.5%	1	2.9%	6.2%
合計	482		400			40		35		

- ア 総態様件数：小学校 400 件（1 回目調査比-82 件）、中学校 35 件（1 回目調査比-5 件）
- イ 小中学校とも、認知件数の減少に伴い態様件数が減少している。
- ウ 小中学校とも「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」の態様が最も多い。また、1 回目と同様京都府より高い。
- エ 中学校は、「金品をたかられる」「パソコンや携帯電話で、誹謗中傷や嫌なことをされる」の態様の割合が京都府より高い。
- オ 「パソコンや携帯電話で誹謗中傷や嫌なことをされる」の内容については、小学校ではオンラインゲームやタブレット、中学校ではインスタグラムでのトラブルがあげられている。
- カ 「その他」の内容は、注意しても聞いてくれないなどがあげている。

4 いじめの「重大事態」について

2 回目調査、および本日まで「重大事態」の認知及び発生はない。